

県議会議員

あらい、絹世の「磯っ子」レポート

夢と希望のある神奈川を



<https://araikinuyo.jp/>

4月から施行、分かり易さにも苦慮 「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例 ～ともに生きる社会を目指して～」

昨年10月、県議会本会議で可決し、制定された「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例」が、新年度がスタートした4月から施行の運びとなりました。

神奈川県では従来、手話言語条例やみんなのバリアフリー街づくり条例など個別での規定はありましたが、障がい福祉推進のための総合的な条例が制定されたのは今回が初めて。

2016年7月、相模原市の県立障害者支援施設・津久井やまゆり園で入所中の障がい者19人の命が奪われる大変痛ましい事件が発生し、同年10月に県議会と県が共同して、「ともに生きる社会かながわ憲章」を制定しました。その後県は障がい者との対話を重ね、「当事者目線の障がい福祉」を実現するための普遍的な仕組みとして、条例が制定されました。

「当事者目線の障がい福祉」は黒岩祐治知事による県政の「肝いり施策」の一つで、全文、本則27か条、附則から成っています。「……基本理念を定め、及び県、県民、事業者等の責務を明らかにするとともに……障がい者が障がいを理由とするいかなる差別及び虐待を受けることなく、自ら望む暮らしを実現することができ、障がい者のみならず誰もが喜びを実感できる地域共生社会の実現に資することを目的としています」（第1条関係）や、「虐待の防止」（第15条関係）、「障がい者の家族等に対する支援」（第17条関係）などが規定されています。「条例は難しくてわかりにくい」という障がい者等の意見を受けて、障がい者など関係者をメンバーとするワーキンググループにより、昨年10月「条例の分かりやすい版」も作られました。また、条例の目指す姿を県民の皆さんに分かりやすく示すため副題である「ともに生きる社会を目指して」を付し周知、啓発を行なっています。

新年度の県の一般会計当初予算にも同条例を推し進めるための各種新規事業などが盛り込まれています。「障がい者の地域生活移行を担う福祉人材確保のため各種支援や研修を行い、専門人材を育成する」（5491万円）、「障がいに対する理解の促進のため共生社会を体感できる機会や、メタバースを活用した新たなコミュニケーションの場を創出する」（1047万円）などです。

コレが言いたい!

条例制定は、真の共生社会の実現に向けた確かな一歩です。しかし、条例ができて終わりではなく、形あるものにするには、様々な意見を聞くことが肝要です。その上で、当事者と共に家族や関係者の視点を盛り込んだ、形ある有効な施策を展開する必要があります。さらに実効性のあるものとしていくために、人材の確保・育成が重要であることから、県議会では条例の採決の際、「障害当事者とご家族の多様なニーズに対応できる受け入れ体制のさらなる整備・拡充、担い手人材の育成・確保と処遇改善、実効性を担保するための財政支援と推進体制の機能強化に努めるとともに、諸情勢の変化に応じ柔軟かつ果敢に見直しを行うこと。」の意見を附しました。

今月のひと言

4月1日から30日は、「若年層の性暴力被害予防月間」です。性犯罪・性暴力は、重大な人権侵害であり、決して許されません。かならいんでは、24時間365日いつでも相談を受け付けています。「相談電話 #8891(全国共通番号通話料無料)または045-322-7379」

磯子あれ? これ?

磯子区 馬場町 (〒235-0002)

馬場町は磯子区の北部に位置しています。

昭和2(1927)年、区制施行と共に磯子区西根岸町^{あざ}字馬場となり、昭和8(1933)年、西根岸町を廃止して字馬場の地域と字坂下の一部に西根岸馬場町が新設されました。そして、昭和40(1965)年に町名を馬場町へと変更しました。

昭和19(1944)年頃の空襲による延焼防止のため、建物疎開をおこない町内を南北に貫く根岸疎開道路が造られました。

町の一角には平成6年に根岸地区センター、地域ケアプラザ、訪問の家「集い」が開設されました。この敷地には、明治34(1901)年創業の横浜耐火煉瓦製造所(戦時中は軍需工場、捕虜収容所第18派遣所)がありました。

また疎開道路沿いには、今は大きな駐車場になっていますが、昭和37年頃まで牧場もあり、のどかな風景を懐かしむ人々もおります。

令和4年の調査によると、世帯数は669、人口は1,246人となっています。

参考:フリー百科事典(ウィキペディア)・磯子区統計白書・地域の方のはなし

活動報告



自民党県議団、今回の任期最後の集合写真。



一年間、会長を支えてくれた政務調査会の副会長に感謝します。

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会学福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選

- 総務政策常任委員会委員
- 共生社会推進特別委員会委員
- 予算委員会委員
- 自民党県議団政務調査会会長
- かながわ自民党女性議員局長

